（別記様式第１２号）（第３の８関係）

（松本地域）

令和６年度　地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	まつもと未来マルシェ
事業主体 （連絡先）	一般社団法人ＯＮＥ-ＰＡＲＫ 松本市城東 1-3-22 花里ビル北
事業区分	(8)その他地域の元気を生み出す地域づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	3,779,640 円（うち支援金：3,023,000 円）

事 業 内 容

松本平の子どもたちや学生、若者たちと地域社会が世代の壁を越え、ともに新しい時代のまちづくりに取り組む本事業は今回、「探究・挑戦・発信」という 3 つのキーワードのもと、中学生や高校生の探究授業や部活動での取り組みや成果を発信するワークショップなどのブース、地元の事業者と学生がコラボして新たな松本ブランド（名物）を開発販売するブースなどを核にオリジナリティあふれる多彩な内容で実施しました。また、運営スタッフも子どもや学生たちが担当し、バルーンアートによるおもてなしや、松本の未来に関するアンケート調査の実施など事業全体の企画運営にも主体的に参画しました。また、実施までの学生たちの取り組みや当日の様子のほか、学生や若者たちの松本に対する思いをより深く多くの市民に発信するツールとして動画チャンネルや冊子なども制作しました。

【イベントの様子】

事 業 効 果

今回の事業にはスタッフ・出展者・出演者として、のべ 600 人を超える子どもや学生の皆さんに参画していただき、地域の大人たちと協働して中心市街地の賑わいづくりや松本平の魅力発信に挑戦してもらうことが出来ました。これをきっかけに自分たちで新たなまちづくりプロジェクトを立ち上げたいという学生の声や、今後もこのような事業に参画したいという学校関係者や地元の事業者の声も多くいただきました。このように子どもや若者を中心に新たな時代のまちづくりに世代を超え主体的に関わろうという意識と、故郷松本に対する愛着（郷土愛）を大いに高めることが出来ました。また、来場者数も会場が閉店間近の松本 PARCO ということもありましたが、1st ステージ（9 月）と 2nd ステージ（2 月）合わせて延べ 10,000 人（目標は 6,000 人）を超える結果となり、松本の中心市街地に賑わいをもたらすとともに、多くの市民の皆さんに松本平の明るい未来と大きな可能性を感じていただくことが出来ました。

【目標・ねらい】

① 地域社会と子供たちとのふれあい・交流・協働の場づくり
② 郷土愛の醸成
③ 松本中心市街地の活性化

※自己評価【 Ａ 】

【理由】目標を大きく上回る来場者数を動員するとともに、のべ 600 人を超える子供や学生たちがこの事業を通して地域と交流・協働できた。また、今後も主体性をもってまちづくりに参画していく意欲と郷土愛を高めることができた。

今後の取り組み

今後も 3 つのキーワード「探究・挑戦・発信」と 3 つのテーマ「世代を超え共に学びあうまちづくり・多様化する地域社会の新たなつながりづくり・松本平の未来を担う人づくり 」のもと、学都松本に相応しいまちづくりに取り組んでいきます。具体的には今回の事業をきっかけに新たにスタートした学生企画「まちかふぇ（ワールドカフェスタイルの多世代交流イベント）」を軸に、地元の企業（事業者）や地域社会と子ども・学生・若者たちとをつなぐプラットホームを構築するとともに、これから始まる「部活動の地域移行」といった社会の変化も踏まえ、企画の段階から子どもや学生たちが主体的に参画できる多世代協働型のまちづくり（地域貢献・地域活性化）プロジェクトを様々な規模や内容で実施していきます。現段階では前述の「まちかふぇ」のほか、学校に限らず地元の企業（事業者）なども一緒に探究をテーマにしたブースを展開する「学都まつもと探究フェスタ（仮）」や 1 次産業や 6 次産業といった信州のものづくりの魅力を若者たちの手で発信していく「コレカラ信州マーケット（仮）」、地元キッズよるダンス＆パフォーマンスで地域を盛り上げる「城町フェス（仮）」なども企画中です。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた　「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある